

平成26年度 川辺高校関西同窓会報告

平成26年11月9日(日)、ホテル大阪ベイタワーにおいて川辺高校関西同窓会が開催されました。本部同窓会からは、大坪憲市会長(昭和41年卒)の代理として亀甲俊博同窓会評議員(昭和47年卒)が出席しました。また、恩師として本校創立100周年・110周年記念行事運営を先頭になって仕切っていただいた長野守雄先生(昭和42年卒)が招待されました。長野先生は、手作りの個人名入りの栞と学校の沿革史の資料を準備されての参加となりました。本校からは小屋敷浩昭校長先生と同窓会係中尾龍二(昭和52年卒)が出席し、総勢33名での同窓会となりました。前日には、岩屋口大造関西同窓会会長(昭和39年卒)と大藁早夫事務局長(昭和41卒)のご厚意で、鹿児島から来た我々4名のために、大阪の名所アベノハルカスを案内していただき、翌日の同総会の成功を期しての前祝いの祝宴を開いていただきました。

当日は、時間通り12時から大藁事務局長の軽妙な司会進行のもと、岩屋口会長の「焼酎を酌み交わしながら楽しく歓談しましょう」というあいさつを皮切りに、まず開会行事が始まりました。来賓あいさつでは、小屋敷校長先生が、スポーツジャーナリストの二宮清純氏の「能力や運だけでなくそこに至るまでの準備力が必要だ」という講演の内容を引用し、ここまで準備して当日を迎えた関西同窓会役員の方々への感謝の意を表した後、ピッチングマシンを贈呈された成果が夏の大会で発揮されたこと等学校の概況を説明し、生徒数の少なさをプラスに変えて一人一人に手が届く学校を目指していると挨拶されました。次に、亀甲さんは、大坪会長の思いとして、会員の皆さんと母校存続のために頑張っていること、先生方も熱心に指導してくれていること、ボランティア活動等地域の方々からも母校の生徒たちは喜ばれていること等を伝えた後、歴史と伝統ある校歌の歌詞に込められている思いに触れながら更なる援助と協力をお願いしたいと締めくくりました。

第二部の懇親会は、昭和22年卒の鎌田稔さんの乾杯の音頭でスタートしました。しばらく歓談した後、恩師として招待された長野先生からは、手作りの資料をもとに母校・同窓会への熱き思いが語られました。圧巻は、旧制中学の座右の銘である「弘毅正大心 競進期優越 不断刺激新 忠実奮自学」を長野先生が読み上げ、全員で斉読した後、参加者からのリクエストで内容解説の講義をされたことでした。

その後も、大藁事務局長のご指名で出席者の近況報告会が続きました。昭和26年卒の木原康雄さんからは学校設立の秘話の紹介がありました。また、今回2回目の参加である平成12年卒の西野大輔さんから、関西同窓会青年部を作りたいと決意表明がなされました。また、今回初めて参加した平成16年卒の岩田大樹さんは、後輩から立派な先輩と言われるように頑張りたいと述べました。諸先輩方も頼もしい若手が出てきてくれたと一安心していました。途中記念写真撮影を挟み、和気あいあいと楽しい時間を過ごした懇親会は予定時刻を過ぎても続きました。

各地の同総会に参加させていただいて感じることは、参加されている方々の元気あふれる様子と尽きることない母校愛です。今回も、楽しく充実した時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。

岩屋口関西同窓会会長あいさつ



手作りの資料持参で熱弁をふるう長野先生



みんなで乾杯。楽しい宴の始まりです



席を移動しての懇談が続きます



楽しい語らいの輪はまだまだ続きます



久しぶりの再会に話題が尽きません



今後の関西同窓会を担う若手のホープの二人です
西野大輔さん



岩田大樹さん



大先輩のリードでの新旧校歌斉唱



出席者全員での記念写真撮影

